

最終回 夢

夢！この一言が物事をしっかりやるんだという気持ちを奮い立たせてくれています。

小学生の頃、作文に「パイロットになるんだ。科学者になる。学校の先生になりたい。」などとかいたことがありますよね。人生にしても、事業においても、学校生活においても自分なりの夢を描いていることと思います。

夢もなく、毎日を時間が過ぎるままに過ごし、ただ、同じ事の繰り返しをしているとしたらこんなつまらない張りのないことはありません。子供だって、「今度の水泳大会で1等賞になるんだ。」「あの高校に進学して、あの大学に進み、こんな会社に就職して、未は自分が社長になる。」というように夢を追いかけています。でも、ただ漠然と考えるだけではその夢はただの夢で終わり、絵にかいた牡丹餅になってしまいます。夢を何とか実現しようと言う気持ちが強ければ強いほど、その夢はしっかりした姿を表してくるはずですよ。大きさ、形、色、堅さ、重さなど自分で見え、把握出来ることは当然で、他人にも伝えられるものでなければ、夢とは言えない筈です。

自分の夢を確実に描いている方は、誰が見ても輝いて見えるでしょう。反対に、夢がなく、現実を捨て、張りのない生活を送っている方は、存在感もなく、周りの人とのふれあいもなく、一人寂しく暗い人生を過ごしているのではないのでしょうか。毎日の目標を立て、昨日よりは今日、今日よりは明日、ひとつでも自分が向上したことがあるように努め、1日1日成長していく姿を感じた時、更に気持ちが充実して希望に満ち溢れ、元気に行動が出来るようになってくるでしょう。

愚痴、不平、不満、後悔、恨む、嫉むなどマイナスの方向に心が向き、悩みの中に自分自身が置かれてしまうと、夢どころの話ではありません。もがき、苦しみ、自分を完全に見失ってしまうことになってしまいます。結果は、家庭崩壊、事業失敗などという悲惨なことになり、人間失格の烙印を押されてしまいます。

人間弱いもので、来る日も来る日も陽の当たることがなくなってくると、それこそ「夢も希望もない」状態になり、社会復帰も不可能になってしまいます。そんなことを望む人はどこにもいません。

経済環境がどんどん悪化している今、しっかりした“夢”を常に持ち、明るく元気に人生を過ごせるように努力していかなければなりません。夢の路線から外れてしまった時は、すぐに反省が必要です。反省とは、過去を振り返り、考えることではありません。

今度はこうしてやってみようかと決断して、実行してみることなのです。その実行することから、夢に沿った路線に戻れることは間違いないことでしょう。

夢は眠っている時に見るものではなく、目をしっかり見開き、頭の中にその夢を描けるものでなければ、夢とは言えないのではないのでしょうか？夢は自分のものだけにせず、家族、社員、仲間にも伝え、実現に向けて手を貸して頂いたらと思います。公言することによりやらなければならないという責任感を感じ、より大きな夢を一日でも早く現実のものとなるように頑張ってみてはいかがでしょうか。

岳温泉街を浴衣を着たご夫婦が、カップルが、家族連れが車の通行も気にしないで、会話をしながら、楽しそうに散歩をしている。旅館の方も、お店のおばさんもお客様に挨拶をし、気軽に声をかける。いつもこんな温泉街であったらと夢を見ています。

福島県二本松市岳温泉1丁目1番地

庭園の宿 松溪苑

代表取締役社長 佐藤 俊夫